

速度取締り指針

千葉県高速道路交通警察隊の速度取締り重点

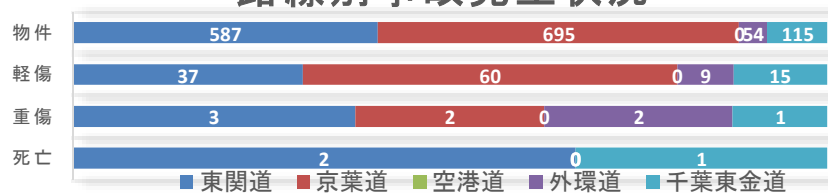
重点路線	重点区間	規制速度
東関東自動車道水戸線 京葉道路	湾岸市川インター ～ 潮来インター	80Km/100Km
	篠崎インター(都県境) ～ 蘇我インター	60Km/80Km

★ 重点路線・区間以外であっても、取締りを行います。

高速隊管内における交通事故実態

昨年下半年(7月1日から12月31日)の人身事故発生件数は167件、物件事故は2107件で、全路線での交通死亡事故発生件数は3件、重傷事故発生件数は10件、軽傷事故発生件数は154件でした。路線別での交通死亡事故発生状況は、東関東自動車道2件、千葉東金道路1件で、人身事故の発生状況は、東関東・京葉道で104件(約62%)、物件事故は1282件(約62%)と、全発生件数の過半数以上をしめ、同路線の区間別内訳は下記グラフのとおりです。

路線別事故発生状況



東関東自動車道は、首都圏と成田空港を結ぶ大動脈で、更には、圏央道から常磐道へと通じ、開通以来交通量も増加傾向にあります。

都内と県内を結び、大型貨物車から普通車まで通行量が多く、加えて週末は、房総方面等に向かう車両で混雑し、渋滞中の追突事故が多発しています。

東京湾横断道路(アクアライン)、千葉東金道路は週末に県外から観光のために通行する車両が多く、特に東京湾横断道路(アクアライン)は、上り線のアクアトンネル(海ほたる)を先頭に木更津本線料金所を越えジャンクションまで渋滞が発生し、それに伴う交通事故(追突事故)が多発しています。

- ▼ 規制速度を守ることは危険認知時、事故回避につながることはもちろん、万一事故が発生しても、その衝撃や負傷の程度を軽減することが期待できます。
- ▼ 悲惨な交通事故を抑止するため、悪質で危険な速度取締りを実施していきます。
- ▼ 交通事故抑止の観点からも、あおり運転関連違反等の事故に直結する違反の取締りを強化徹底しています。

～昨年下半年の交通死亡事故発生状況～

- 昨年下半年は、東関東道・千葉東金道路で計3件の交通死亡事故が発生しており、形態は、車両5台による多重追突事故、二輪車の単独事故、普通車同士の追突事故でした。京葉道路での交通死亡事故の発生はないものの人身事故、物件事故が多数発生しています。

交通事故を未然に防止し、人身被害軽減を図るために、事故統計資料などに
基づき、効果的な交通指導取締りを推進していきます。